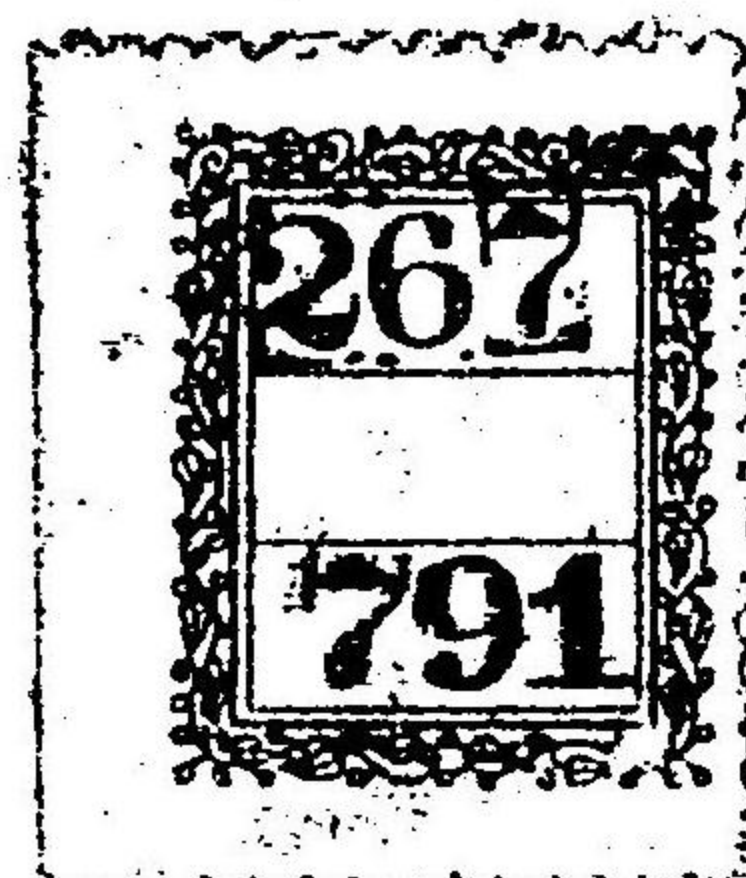


# 優良産業組合事績

有限責任豊地信用販賣購買組合  
無限責任玉瀧信用販賣購買組合



042137-000-8

特20-853

優良産業組合事績

村上 晋 / 編

M45

BDI-1179



無限責任 玉瀧信用購買販賣組合

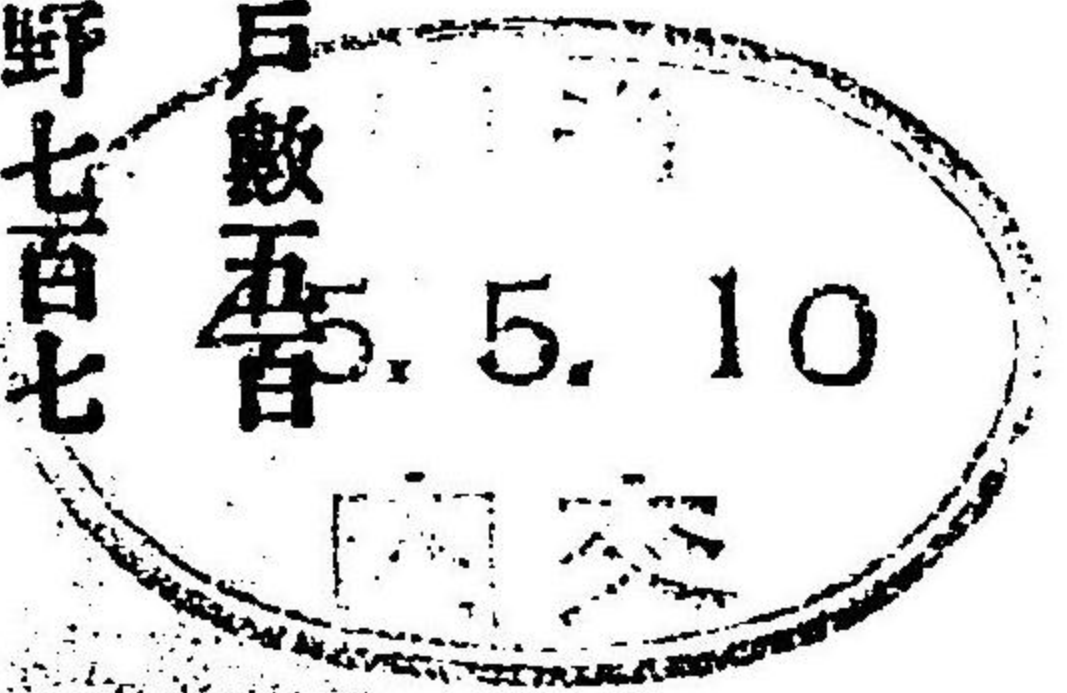
一、設立事項

伊賀ノ極北タル山間僻處ノ地ニ在リ聚落相呼應シテ別ニ一寰ヲ爲スモノ阿山郡玉瀧村是ナリ戸數五百四十三ノ人口三千七百七十八ヲ算シ土地ハ田三百七十四町六反歩、畑六十五町四反歩、山林原野七百七十四町八反歩ヲ有ス即チ現住宅一戸ニ付キ耕地八反一畝山林其他一町五反ヲ所有ス

農家戸數ハ四百九十七戸ニシテ其ノ内地主五十九戸、地主兼小作人ハ四百五戸ノ多キヲ占メ全ク土地ヲ有セザル小作人ハ纔ニ二十戸アルノミ人情頗ル淳朴ニシテ園村能ク緝睦シ勤儉力行ヲ爲シ農桑ノ業年ヲ逐テ進ミ加フルニ林業、家内工業等ノ副業ニ努メ戸々ノ生計漸次上進セムトス

然レドモ今更ニ有餘年ノ前ニ在リテハ村勢固ヨリ今日ノ如クニ優良ナラズ明治十年西南役後ノ米價ノ一時的暴騰ハ住民ヲ遊惰奢侈ニ誘ヒ負債ヲ増加スルニ至リ加フルニ明治十六年ノ大旱魃ニヨル收穫ノ減耗ハ一層負債ト困窮トヲ重キ延テ犯罪者ヲ出スコト相踵テ起リ明治二十年ニ至リ村勢ノ衰頹其極ニ達ス明治四十二年夏期玉瀧村小學校同窓會席上ニ於ケル村長木津慶次郎氏ノ講演ハ克ク當時ノ情況ヲ知悉スルニ足ル曰ク

明治十九年末本村戸長役場備付公証割印簿ニヨリ調査スルトキハ土地建物ヲ抵當ニ書入レタル村民



ノ負債總額四萬千五百六十一圓アリ此負債ハ概テ村外ニシテ尙此外ニ村內相互間ノ信用貸借ナルモノモ又多カリシヲ知ルニ足ル

翻テ當時ノ土地價格ヲ調査スルニ上田一反歩ノ地價平均六十三圓ニシテ賣買價格ハ四十六圓即チ地價ノ七三掛ニ過ギズ全村ノ地價二十五萬圓此價格十四萬六千圓ト見積リ此內ヨリ他村人ノ所有スル土地ヲ引去リ現在ノ負債ヲ償却スルトキハ其差引殘高ハ隣村ノ富豪一人ノ所有財産ニ及バザルコト遠ク實ニ憐レ果敢ナキ境遇ニ陥リアリシコトヲ今ニ於テ確ムルコトヲ得タルナリ

勤勉貯蓄ハ本村是トシテ今ヤ盛ニ實行スル處ナルモ其當時ハ實ニ振ハザルコト甚シク縣ハ諭達ヲ發セラレ郡村ノ當局者ハ種々勸誘ヲ試ミタルモ一人ノ應ズルモノヲ得ズ村吏學校職員等ヲシテ義務的ニ之ヲ行ハシメタル者明治二十年ニ於テ僅カニ九名一ヶ月ノ貯蓄金總計三十三錢一厘ニシテ今ノ青年者一人一ヶ月ノ貯金ニモ及バズ地所賣買ノ如キ又實ニ頻繁ニシテ一ヶ年ノ書換件數五百四十四件ノ多キニ上リ農家ノ生命タル土地ハ朝夕ニ其所有者ヲ異ニシタル狀況ナリキ更ラニ道德上ノ方面ハ如何ト觀ルニ人心ノ荒廢モ亦甚シク明治二十年中刑事被告人ヲ出スコト十四人竊盜、詐欺、贓物故買、賭博、墮胎、官林盜伐等忌ムベキ罪名ノ下ニ處罰セラレタルノミナラズ或ハ一家ノ不和合、或ハ一村內絶交等ノ不心得者アリ又民事訴訟十四件何レモ債務者ガ其義務ヲ履行セザル爲メ起リタルモノニシテ同年度ニ於ケル村民生計概況調査ニ依ルトキハ家産ヲ蕪盡シタル者三十二戸將ニ蕪盡セ

ントシ維持ノ見込ナキ者五十四戸一々其戸主名ヲ列記シアリ此內ニハ既ニ家産ヲ回復シ若クハ昔日以上ノ資産ヲ造リタル者モ尠カラザルモ其當時ハ實ニ目モ當テラレザル窮狀ニアリシハ歴然トシテ記録ニ存ズル所ナリ云々

當時ノ戸長木津善助氏深ク之ヲ憂ヒ町村制施行ノ際擧ゲラレテ村長ト爲ルヤ銳意其弊ヲ矯正セントシ先ヅ其端緒ヲ啓キタリシモ不幸在職幾モナク病歿シタリ其後二代ノ村長孰モ前村長ノ遺緒ヲ承ケ專ラカヲ風紀ノ改善ト資力ノ充實トニ致シ一村ノ衰運ヲ挽回セントシ連リニ苦心經營セシモ未ダ全ク其ノ効ヲ收ムル能ハザリキ

現村長木津慶次郎氏ノ就任セシハ實ニ此際ニ在リキ氏初メ町村制施行ノ際村書記トナリテヨリ以來收入役助役ヲ經テ三十七年六月村長トナリ村務ニ服スルコト茲ニ二十有三年恪勤勵精一日ノ如ク最モ力ヲ事務ノ整理村勢ノ發展ニ致シ企畫經營到ラザルナシ即チ先ヅ規約ヲ設ケテ質素ヲ守リ無用ノ遊興ヲ廢シ一意専心家業ニ精勵シ少シク勞力ニ餘裕ヲ生ズル時期ニ於テハ或ハ溜池ヲ擴築シ或ハ道路ヲ改修シ稼穡ニ忙ハシクシテ遊興ヲ忘ル、ニ至ラシム就中水利ノ擴張ハ早魃ノ被害ヲ免レテ歲ハ概テ豐饒ニ收入漸ク増加シ教育ノ普及ニ伴フテ荒廢シタル人心ハ漸次ニ改善セラレ日清日露ノ兩役ヲ經過シテ全ク村ノ面目ヲ改ムルニ至レリ就中三十四年村是ヲ定メ努メテ其實行ニ便ナルモノヲ選ベリ即チ

一、農作法ヲ改良シテ其產額ヲ増加スルコト

- 二、米選俵裝ヲ改良シテ販路ヲ擴張スルコト
  - 三、地主ト小作人間ノ圓滿ヲ圖ルコト
  - 四、共同販賣ト共同購入トヲ圖ルコト
  - 五、餘業ノ種類ヲ選擇シテ之ヲ一般農家ニ普及セシムルコト
  - 六、基本財産ノ増殖ヲ圖ルコト
  - 七、勤儉貯蓄ヲ實行スルコト
  - 八、部落有山林ヲ整理スルコト
- 村是ノ内勤儉貯蓄ニ關シテハ米作ノ改良副業ノ振興ニ依リ其收入ノ増加ヲ圖ルト共ニ日掛貯金ノ制ヲ設ケ之ガ獎勵ニカメ其蓄積ハ積デ一萬圓ニ達セリ是ニ於テカ有力者相謀リ一村ノ金融機關トシテ株式會社玉瀧銀行ヲ設立シ右貯金ノ總額ヲ之ガ株式拂込ノ資ニ供セリ爾來規約ヲ設ケテ一層其獎勵ニ努メシカバ各種團体ノ貯金ハ積ミテ數十萬圓ニ上レリ然レドモ資金ヲ利用シテ產業ノ發達ヲ助クルノ途ヲ講ゼザレバ未ダ其目的ヲ達シタリト謂フベカラズ是ニ於テカ信用組合ヲ設立シテ共同一致ノ實ヲ擧ゲ一般勤勞ノ餘資ヲ蓄積セシメ又資金分布シテ產業ノ資ニ供セムコトヲ圖レリ而モ其ノ擧ヲ開キテ直チニ應ズル者ハ中産以上ノ者ニシテ下級細民ニ至リテハ其趣旨ノ了解遲クシテ應募者甚少シ是ヲ以テ百方之ガ說示勸誘ニ勉メ明治四十一年其機大ニ熟スルヲ見殆ンド一村ノ全戸數ヲ網羅シ同年八月八日

ヲ以テ設立ノ許可ヲ得タリ

共同販賣ト共同購入トハ村農會ノ斡旋ニ依リ明治三十六年頃ヨリ開始セリ販賣物品ノ重ナルモノハ米穀、大豆、繭、茶、薪炭、藥、鶏卵、松茸、經木眞田ノ類トシ購入物品ハ肥料、食鹽、種子、種苗、蠶卵紙、桑葉、副業原料等ナリトス就中米ハ村ノ主要物産ニシテ毎年四千石以上ノ販賣高ヲ有スルヲ以テ最モ重キヲ置ク所ナリ明治三十四年村是調査ヲナシタルトキ本村ノ米ヲ隣縣近江米ト比較シタルニ彼ノ下等米ヨリ一石五十錢位低價ナリキ本村ノ重要物産タル米ニシテ此ノ如クンバ誠ニ大事ナリトテ米ノ改良及共同販賣ニ着手セリ

先ヅ米ノ品質ヲ改良スル爲メニ品質ノ改良、施肥、耕耘、乾燥等ニ勉メタリ三十六年地主會ヲ起シテ小作米ノ改善ヲ謀リ又三十八年郡部各町村ニ卒先シテ産米検査ノ法ヲ設ケ村内全部ノ検査ヲ執行シテ一々証明票ヲ附シ等級ヲ區別シテ販賣シタリシカバ本村ノ産米モ漸次市場ノ聲價ヲ高メ近江米ト伯仲スルニ至レリ然レドモ産地相場ヨリ云ヘバ尙迥ニ低價ナルヲ以テ大ニ共同販賣ノ必要ヲ感ジ更ニ四十二年ヨリハ共同集積倉庫ヲ始メタリ是ヨリ先キ三重縣米穀検査規則發布セラレ米ノ品位等確實ニ判別セラレ共同販賣ニ一層ノ便宜ヲ得タリ當初ハ農會ニテ販賣數量ヲ取纏メテ之ヲ商人ニ通知スル方法ヲ執リシモ愈々米ヲ引渡ス時期ニ及ビ米ノ品種ノ異ルコトアリ又數量ノ異ルコトアリ又數量ノ不足スルコトアリテ取引上甚ダ不都合ヲ感ジタリ

次ニハ二里半許リ離レタル近江線深川、佐奈具ノ兩驛ニ運送業者ノ倉庫ヲ賃借シ産米ヲ運搬シテ集積シ之ヲ入札ニ附スルコト、ナセシモ是亦販賣米ノ收集取纏中往々商機ヲ逸シ遠隔ノ爲メ管理ノ便ヲ欠キ充分ナル効果ヲ得ザルノミナラズ動モスレバ地方商人ノ爲メニ壟斷セラル、感ナキニアラザリキ是ニ於テ地主會ノ事業トシテ村内各大字ニ一個ノ共同集積倉庫ヲ設立シ産米ヲ便宜集積シ毎月一回共同販賣ヲ實施シ尙小作ノ受授ヲモ行ハシメタリ而シテ入庫米ニ對シテハ簡易ナル米券ヲ發行シ資金ノ必要生ズルトキハ之ヲ擔保トシテ信用組合ヨリ資金ノ融通ヲ受クルコト、セリ斯ク地元ニテ有利ニ販賣スルヲ得事業追々順況ニ向ヒシガ尙一層資金ノ融通ヲ圓滑ニシ販賣事業ヲ確實簡易ナラシメンガ爲メ共同購入及他ノ物産ノ共同販賣事業ト共ニ産業組合法ニ因ル事業トナスヲ適當ナリト認メ四十四年一月信用組合ノ定款ヲ變更シテ無限責任玉瀧信用購買販賣組合ト爲セリ

一、經營ノ狀況

事業ノ狀況及成績左ノ如シ

(1) 設立以來組合員ノ職業別ノ數及出資拂込ノ狀況

組合員職業別

| 年 度 | 區 別 |    |    |    |    | 計  |    |    |    |    |
|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|     | 農   | 工  | 商  | 林  | 雜  |    |    |    |    |    |
|     | 人員  | 口數 | 人員 | 口數 | 人員 | 口數 | 人員 | 口數 | 人員 | 口數 |

|      |    |       |   |   |   |   |   |    |    |       |
|------|----|-------|---|---|---|---|---|----|----|-------|
| 第一年度 | 四九 | 一、四七二 | 三 | 六 | 三 | 五 | 一 | 一八 | 五五 | 一、七二八 |
| 第二年度 | 四三 | 一、四七五 | 三 | 七 | 三 | 六 | 一 | 一八 | 五二 | 一、七一九 |
| 第三年度 | 四三 | 一、四七五 | 三 | 七 | 三 | 六 | 一 | 一五 | 五二 | 一、七一九 |
| 第四年度 | 四九 | 一、五八  | 三 | 七 | 三 | 八 | 二 | 二  | 五三 | 一、八〇五 |

出 資 拂 込

| 年 度  | 區 別 | 各自拂込       |    | 剩餘金ヨリ拂込 |    | 計          |
|------|-----|------------|----|---------|----|------------|
|      |     | 人員         | 口數 | 人員      | 口數 |            |
| 第一年度 |     | 三、四六、〇〇〇   | 〇  | 〇       | 〇  | 三、四六、〇〇〇   |
| 第二年度 |     | 六、九一六、〇〇〇  | 〇  | 〇       | 〇  | 六、九一六、〇〇〇  |
| 第三年度 |     | 一〇、三七四、〇〇〇 | 〇  | 二七六、六四〇 | 〇  | 一〇、六五〇、六四〇 |
| 第四年度 |     | 一四、四七四、二〇〇 | 〇  | 七六、〇五〇  | 〇  | 一五、二三四、二五〇 |

(2) 貯 金

組合員ハ勤勞ノ餘資ヲ以テ毎月必ズ三十錢以上ノ貯金ヲ行フコトヲ一種ノ義務トシ毎月十四日又ハ二十八日ヲ預入期日トシ前者ハ後半月ヨリ後者ハ翌月ヨリ年利五分四厘ノ割合ヲ以テ利子ヲ附シ六月十二月ノ兩度之ヲ元本ニ組込ムモノトス貯金ヲ集ムル方法ハ村内十二區ニ分チ區ニ委員ヲ置キ組合員ハ毎月現金ト通帳トヲ最寄委員ノ宅ニ持參セバ委員ハ之ヲ事務所ニ持參スルモノニシテ事務所

ニ於テハ勤勉成績一覽表ヲ設ケ組合員貯金ヲ預入スル毎ニ各月欄ニ實行濟ノ印ヲ附シ之ガ附点ナキモノハ不實行者トシテ毎月二十九日之ヲ委員ニ通知シ月末マデニ必ズ預入セシメ其各區成績ハ順位ヲ示シ不實行者アラバ之ガ氏名ヲ備考欄ニ掲ゲテ毎月必ズ之ヲ組合員ニ配附シ以テ不實行者ヲ反省セシム斯クシテ預ケタル金額ハ出資拂込ニ當リ止ムヲ得ザル者ニ對シ振替ヲナスニ止メ別ニ約束貯金トシテ年賦借入金ヲ償還ニ充當スルモノアル外一切拂戻ヲ爲スコトヲ得ザラシム今各年度ニ於ケル貯金受入額ヲ示セバ左ノ如シ

| 年 度 | 第一年度      | 第二年度      | 第三年度      | 第四年度      |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 金 額 | 一、六〇四、八〇九 | 四、七二二、六六八 | 四、二八〇、〇九八 | 五、五六七、四〇六 |

(3)貸付金ノ狀況

組合設立當時ハ資金ノ準備充分ナラザリシヲ以テ貸付順序ヲ定メテ細民ノ産業資金ヲ先ニシ事業ノ種類ニ依リ長期ニ亘ルモノ、如キハ貸出ヲナス能ハザリシガ今ヤ漸次資金ノ充實スルニ伴ヒ當用ノ産業資金ハ之ヲ供給シテ尙餘アルニ至リタルヲ以テ組合員ノ所持スル米券ニ對シ簡便ナル貸出ノ途ヲ開キタル如キ或ハ約束貯金ノ方法ヲ設ケ組合員ノ爲メニ高利ナル舊債ノ整理又ハ細民ノ生業資金貸付ノ爲メニ年賦償還ノ方法ニ據ラシムル如キ事業ノ發展ニ伴ヒ組合員ノ被ル便益尠カラズトス其

貸付方法ハ組合員ニシテ資金ノ必要アルトキハ最寄信用評定委員ノ宅ニ就キ豫メ印刷配付シアル証明書ノ交付ヲ受ケ之ヲ事務所ニ持參シタルトキハ直チニ調査ヲ遂ゲ証書用紙ヲ交付シ通常無擔保ニテ貸出ヲ決行スルモノニシテ其借入方法ハ簡便ナリトス然レドモ組合員ニシテ若シ家業ヲ怠リ或ハ信義ニ悖ルガ如キ所爲アルトキハ評定委員ハ之ニ証明ヲ與ヘザルノミナラズ隣保又ハ其債務ノ保証ヲ拒絕スルコトアルヲ以テ組合員ニ對スル資金ノ貸出ハ常ニ産業上ノ發達ヲ促スノミナラズ組合員ヲ以テ平素ノ行爲ヲ慎ミ信義ヲ重シ業務ニ勉勵スルニ至ラシム斯クテ現在貸付利率八朱(地方貸付利率年九朱乃至一割)ニシテ利子毎年六月末及十二月末之ヲ徴收ス今貸付及回收ヲ示セバ左ノ如シ

| 年 度  | 貸 付 額      | 回 收 額      | 年 度 末 現 在  |
|------|------------|------------|------------|
| 第一年度 | 五、四七七、九一〇  | 九九七、八九九    | 四、四八〇、〇一一  |
| 第二年度 | 一〇、一四九、六四六 | 六、二七〇、七九二  | 八、三五六、八五五  |
| 第三年度 | 三三、九六六、九六八 | 一七、一〇〇、〇六一 | 一四、一三五、七七一 |
| 第四年度 | 三三、二七六、四九四 | 一六、七五、九三三  | 一〇、七七六、三三四 |

前記信用評定委員ノ証明書ノ雛形左ノ如シ

産業資金需用証明書

一、所要金額

一、借入氏名

一、資金ヲ要スル事由

一、債務ヲ保証スベキ組合員ノ氏名

右御貸出相成度証明候也

年 月 日

信用評定委員 氏 名 印

無限責任玉瀧信用購販組合

組合長理事 木津慶次郎殿

舊債償還ニ依ル借入金誓約書左ノ如シ

印紙 誓約証書

今般無限責任玉瀧信用購買販賣組合ヨリ低利ノ資金ヲ供給セラレ之ニ依リテ舊債償還ノ方  
法相立候ニ就テハ左記各項堅ク相守リ可申候

一、一家親睦シテ職業ニ精勵スルコト

一、道德ヲ重ンジ質素ヲ守ルコト

一、勤儉貯蓄ノ實ヲ舉ゲ毎月金何圓何錢ヲ玉瀧信用購買販賣組合ニ預ケ入六ヶ月毎ニ借入

元利ノ償却ニ充當スルコト

但戊申詔書實行共勵規定ニ依ル勤勉貯金ハ別トス

右各項ヲ遵守可致萬一違背致候節ハ別紙差入レアル借用証書面ノ期限ヲ短縮シ元利金一度

ニ御請求相成候共聊異議無又此誓約ノ實行ハ勿論債務ノ辨償ニ關シ保証人等ハ本人ト同一

ノ責任ヲ帯ビ凡テ履行可致候誓約証書如件

年 月 日

誓約本人 氏 名 印

保証人 氏 名 印

(以下保証人連名印)

無限責任玉瀧信用購買販賣組合

組合長 宛

(4) 購買

前ニ記シタル如ク需要品ノ共同購入ハ明治三十七年以來農會ニ於テ斡旋シ本年ニ至リ組合ノ手ニ移  
レリ其取扱物品ハ肥料及食鹽ヲ主トシ其他種子、種苗、蠶卵紙、桑葉、副業原料等ナリトス何レモ  
組合員ノ注文ニ應ジテ購入シ傳票ニ依リテ之ヲ整理ス組合員ノ物品ヲ引取レル時期ガ月ノ前半ナラ

ハ其月末マデニ又後半ナラバ其翌月十五日マデニ仕拂ヲ要シ若シ之ヨリ仕拂延期スル場合ハ傳票ニ用ヒタル証券ヲ以テ信用部ノ貸付ニ變更スルモノトス以前ハ肥料商ヨリ保証金等ヲ徴セラレシモ現在ハ組合ノ信用モ漸次加ハルニ至リシヲ以テ豫メ振替ヲ渡シ置クノミニテ物品ヲ引取り代金ヲ取纏メテ後仕拂ヲ爲シ取引至極簡便ニ行ハル、ニ至レリ今四十四年度取扱高ヲ示セバ左ノ如シ

| 區別   | 第一年度 | 第二年度 | 第三年度 | 第四年度                          |
|------|------|------|------|-------------------------------|
| 産業用品 |      | 円    | 円    | 円                             |
| 生計用品 |      |      |      |                               |
| 計    |      |      |      | 二、二〇、六二六<br>六九、九四五<br>二、八〇、五二 |

備考 購買事業兼管後ノ取扱ヲ掲グ

(5)販 賣

村内ノ物産タル米穀、繭、茶、薪炭、藁繩、鶏卵、松茸、經木眞田等何レモ共同販賣ニ付セラル、モ此ニハ主要タル米ノ販賣ニ就キ特ニ詳細ニ述ブル所アラン  
本事業ハ初メニ玉瀧村地主會ノ委託ヲ受ケテ村農會ガ之ガ幹旋シツ、アル形式ナリシガ現在ハ組合ノ經營スル所トナレリ共同集積倉庫ハ村内各大字毎ニ一ヶ所都合三ヶ所設置セラレ各敷地二十坪許ノ平家建ニシテ略完全ナル設備ヲ爲セリ本倉庫ニハ倉庫主任三名ヲ置キ米ノ保管ニ任セシメ又共同

販賣事務ヲ分擔セシム組合員ハ何時ニテモ無料ニテ其産米ヲ寄託スルコトヲ得ル組織トス即チ地主小作人ハ何レモ縣規定ノ検査ヲ經タル後隨意ニ産米ヲ寄託シ俵ノ小口ニ米ノ種類ト自己ノ氏名ヲ記シタル紙札ヲ付ス倉庫主任ハ之ヲ米穀保管臺帳ニ記入シテ左ノ如キ保管証ヲ交付ス

|                  |           |          |
|------------------|-----------|----------|
| 第 何 號            | 保 管 証     | (第何回分)   |
| 一、玄米何俵也          | 何々種       | 何等       |
| 検査等級             | 全         | 全        |
| 右何某殿ヨリ供出ニ付正ニ保管候也 | 全         | 全        |
| 玉瀧村地主會附屬米穀共同集積倉庫 |           |          |
| 年 月 日            | 何之誰殿      | 主任 何 某 印 |
| 前書米代金ノ内金         | 圓也正ニ借用仕候也 | 借主       |
| 年 月 日            |           |          |
| 等 俵              |           |          |



|     |          |         |     |       |       |
|-----|----------|---------|-----|-------|-------|
| 番 號 | 年 月 日    | 等 級 俵 裝 | 種 類 | 供 出 人 | 預 託 人 |
|     | 明治 年 月 日 | 等 俵     |     |       |       |

備考 供出人トアルハ小作人、預託人トアルハ産米ノ所有者ナリ

而シテ小作人ノ如キハ此保管証ヲ以テ小作米ノ納付ニ代フルコトヲ得ベク一時ノ金融ヲ要スル者ノ如キモ亦之ヲ信用部ニ提供シ時價ノ八割ヲ限度トシテ最高年利八厘ノ割合ニ依ル日歩計算利子ヲ以テ一時ノ立替ヲ受クルコトヲ得ベシ此クシテ集リタル米ハ毎月五日ニ締取り七日ニ賣ルモ商況可ナルトキハ二十日前後ニ販賣スルコトアリ預託者ハ其都合ニ依リ其月ノ共同販賣ニ加ラズ若ハ預託米ノ一部ヲ以テ販賣ニ参加スルコト任意ナリ但シ豫メ倉庫主任ニ申告スルヲ要ス主任ハ締切マデニ集リタル米ノ品種等級及俵數ヲ調査シ販賣期日ヲ定メテ京都、大阪ヲ初メ各地ノ信用アル商人ニ廣告ス最モ商人ノ多キ地ヘハ開札當日早天ヨリ大地主中ノ委員順番ニ自費ヲ以テ廣告紙、入札用紙ヲ携ヘテ出張シ注文ヲ集ム(初メハ見本米ヲ持參セシモ現今ニテハ三重縣米穀検査ノ品質等級ヲ示セバ事足ルマデニ信用ヲ博セリ)カクシテ入札書ヲ取集メ即夜關係者立會ノ下ニ開札スルヲ例トス之ニ依テ地方商人等ガ聯合結托シテ安價ニ落札シ利益ヲ壟斷セムトスル弊害ヲ避クルノ用意ニ出デタル

モノトス開札ノ結果ニ依リ即時落札者ニ對シ通知ヲ發ス全時ニ種類、等級、價格、買受人等ヲ示シタル價格一覽表ヲ作製シ各人札者及參加者等ニ通知シ以テ産米ノ眞價ヲ承知セシム落札者ニハ直チニ代價ノ一割五分ニ相當スル契約保証金ヲ提供セシメ之ト全時ニ倉庫ヨリハ買受人指定ノ場所ニ産米ヲ搬出シ(之ノ搬出ハ青年會擔當シ得タル賃金ヲ貯金セリ)契約ノ日ヨリ十日以内ニ殘金ト引換ニ之ヲ交付ス而シテ入札保証金ハ之ヲ徴セザルモ若シ違約シタル商人アラバ將來一切取引ヲ拒絶スルノ定ナルヲ以テ此制裁ハ商人ニ取リテ信用上非常ナル苦痛ナレバ實施以來未ダ曾テ一人ノ違約者ヲモ出サズト云フ販賣ニ係ル代金ノ受渡ヲ了シタルトキハ參加者ニ對シ品種等級俵數ニ從ヒ保管証ト引換ニ代金ヲ交付シ又信用部ヨリ融通ヲ受ケタル者ハ其元利ヲ扣除セラレ殘額ノ交付ヲ受ク但シ販賣米一俵ニ付一錢ノ歩合金ヲ引去ルモノトス此事業ハ地主ノ自助的事業トシテ行フコト、シ別ニ報酬ヲ與ヘザレドモ年末ニ至リ委員一同ニ對シ挨拶狀ニ添ヘテ若干ノ謝禮ヲ送ル此謝禮ハ前記歩合金ノ元利及糶米ノ換價ヲ以テ之ニ充ツ尙ホ販賣終ラバ關係者集合シ米選、俵裝ノ改良、販賣方法又ハ肥料ノ共同購入等ニ關シ懇話會ヲ催スモノトス

販賣順序大略上述ノ如シト雖モ固ヨリ幾多ノ困難ニ遭遇シ當事者ノ頭ヲ悩マシメタルコト少シトセズ就中中間商人ノ反抗甚シク或ハ損ヲ見切り或ハ商況ヲ見越シ一石ニ付五錢又ハ六錢高ク買ハントシ組合員ヲ惑ハサントセシコトナキニアラズ當局者ハ堅忍ト熱心トヲ以テ之ニ對シ常ニ能ク組合員

ニ諭シ地方ノ物産ヲ愛スルノ心ヲ以テ誠實ニ取引ヲ爲シ信用ヲ博セントニ心掛ケシメ賣品ニ對シテ  
 一俵ノ掛切モ見本違モナカラシメ特ニ七月以後ノ販賣米ハ凡テ再度ノ検査ヲ受ケ全ク異狀ナキモノ  
 ニ赤符紙ヲ付シタル如キ其用意ノ存ズル所知ルベキナリ今組合ニ於ケル取扱高ヲ掲グレバ左ノ如シ

| 種目 | 第一年度 | 第二年度 | 第三年度 | 第四年度      |
|----|------|------|------|-----------|
| 米  |      |      |      | 五二、七三、四九二 |
| 藁  |      |      |      | 二、〇五六、五五〇 |
| 繭  |      |      |      | 九八〇、〇〇〇   |
| 經木 |      |      |      | 一、〇八七、九二五 |
| 眞田 |      |      |      | 五、八四六、六六七 |
| 計  |      |      |      |           |

備考 販賣事業兼營後ノモノヲ掲グ  
 損益計算

| 區別年度  | 第一年度   | 第二年度    | 第三年度    | 第四年度      |
|-------|--------|---------|---------|-----------|
| 總益金   | 二五、四二〇 | 五六、〇八三  | 九九八、八五一 | 一、五八八、三八九 |
| 總損金   | 八三、六三八 | 一五〇、五七二 | 二五三、三三二 | 四五三、二〇五   |
| 差引剩餘金 | 八、七八二  | 四二、五一一  | 七四五、五三〇 | 一、一三五、一八四 |

剩餘金處分

| 區別年度  | 第一年度  | 第二年度   | 第三年度    | 第四年度    |
|-------|-------|--------|---------|---------|
| 準備金   | 八、七八二 | 二八、二二八 | 二〇〇、〇〇〇 | 三四四、五〇〇 |
| 配當金   |       | 二七、六四〇 | 五〇一、四一〇 | 七三、一四〇  |
| 特別積立金 |       | 一六、六五三 | 四四、二一〇  | 一七、五四四  |

貸借對照表  
 (貸方ノ部)

| 區別年度    | 第一年度       | 第二年度      | 第三年度       | 第四年度       |
|---------|------------|-----------|------------|------------|
| 拂込未濟出資金 | 三〇、九四、〇〇〇  | 二七、六四、〇〇〇 | 三三、九九、三六〇  | 二〇、八四七、七五〇 |
| 貸付金     | 四、四八〇、〇一一  | 八、三五六、八六五 | 一四、三三五、七七二 | 二〇、七六、三四   |
| 預金      | 六二六、八三〇    | 二、六八五、二三四 | 二、〇五〇、九六四  | 一、九九二、四四四  |
| 債券      |            | 二九八、五〇〇   | 二九八、五〇〇    | 二九四、〇〇〇    |
| 建物      |            |           | 三五八、一五〇    | 三五〇、〇〇〇    |
| 什器      | 九、六八〇      | 一〇、二八〇    | 一〇、二八〇     | 五、五〇〇      |
| 現金      | 六、〇七〇      | 一〇、六〇八    | 一九、四四三     | 一五、九七四     |
| 計       | 三六、〇四六、五九一 | 三九、〇七、四八七 | 四〇、八九二、四六八 | 四四、三八、〇〇二  |

| 區別/年度 | 第一年度       | 第二年度       | 第三年度       | 第四年度       |
|-------|------------|------------|------------|------------|
| 出資金   | 三三〇,〇〇〇    | 三三〇,〇〇〇    | 三三〇,〇〇〇    | 三三〇,〇〇〇    |
| 貯備金   | 一,六〇四,八〇九  | 三,九五四,一九四  | 五,三三六,七八〇  | 六,六一四,三四五  |
| 準備金   |            | 八,七六二      | 二〇〇,〇〇〇    | 四〇五,五〇〇    |
| 特別積立金 |            |            | 一六,六五三     | 六〇,七三三     |
| 剩餘金   | 八,七六二      | 四二,五二一     | 七四五,五三〇    | 一,一三五,一八四  |
| 假受金   |            |            | 一三,五〇五     | 二一,二〇〇     |
| 計     | 三六,〇四六,五九一 | 三九,〇二七,四八七 | 四〇,八九二,四六八 | 四四,三三八,〇〇二 |

純 財 産

| 年 度 | 第一年度       | 第二年度       | 第三年度       | 第四年度       |
|-----|------------|------------|------------|------------|
| 金 額 | 三三,〇四二,七六二 | 三五,〇七三,二九三 | 三五,五四二,二八三 | 三七,七〇二,四七七 |

三、經 過

組合ハ最モ穩健ナル發達ヲ目的トシ出資ノ拂込及義務貯金ノ實行ニ就テハ孜孜トシテ其督勵ニ勉メ今  
 ヤ其額壹萬八千八百余圓ニ達シ創立以來未タ借入金ヲナサス而モ其金額ノ大部分ハ組合員ニ分布セラ

レ其産業及資力ノ發達ニ資サレツ、アリ事務所ハ村役場ノ一室ヲ無償借受ナシ組合長ハ二名ノ常務  
 理事ト共ニ無報酬ニテ事務ヲ執掌シ其事務最モ繁忙ナル場合ニ於テハ村吏員ノ補助ヲ受クルコトアル  
 モ會テ書記雇員ヲ置カス經費ハ僅カニ諸帳簿用紙其他組合事業ニ必須ナル諸雜費ヲ支辨スルニ過キス  
 而シテ其利益ハ貯金ノ利息又ハ年々剩餘金トナリテ悉ク組合員ノ利益ニ歸ス而シテ年々ノ剩餘金ハ準  
 備金、特別積立金トシテ組合ニ積立ツルハ勿論組合員ノ配當金モ現在ハ法ニ從ヒ悉ク出資拂込ニ充テ  
 ラレ同シク組合ニ積立テラレ居レリ役員ハ理事五名監事三名ニシテ毎月一回役員會ヲ開キテ業務上ノ  
 協議ヲナシ又資金ヲ貸與シタル事業ニ對シテハ時々出張シテ其成績調査ヲ遂ケ組合員ヲ指導督勵シタ  
 ルモノ尠カラス事務ハ能ク整理セラレ間然スル所ナク毎月末貸借對照表、勤勉貯金實行成績表及共同  
 販賣價格一覽表等ヲ調製シ又其時々ノ注意事項ヲ印刷シテ之ヲ各組合員ニ配付シ以テ常ニ組合專業ノ  
 狀況ヲ周知セシメ居レリ又隣保協救ノ方法ニ依リ組合員ノ風儀ヲ進善シ自治ノ發達ヲ計ルコトニ注意  
 シ組合事業ニ對スル諸般ノ成績佳良ナル部落ト勤勉貯金ノ成績特ニ佳良ナル組合員ヲ旌彰セリ昨年表  
 彰セラレタル一組合員ノ如キ元無資産ノ脚夫ニ過キサリシモ勤勞貯蓄ノ結果生活ニ漸ク餘裕ヲ生シ遂  
 ニ其宅地ヲ買戻スニ至レリト

四、經濟上ノ効果

組合ハ創立以來未タ四ヶ年ニ過キス特ニ販賣及購買事業ノ如キ組織ニ改メテヨリ漸ク一事業年度ヲ經

過セシモ地ノ機關ヲ以テ實際同様ノ事業ヲ營ミシヨリ已ニ七八年ヲ經タルヲ以テ事業成績ノ微スヘキモノ一二ニシテ足ラス殊ニ本村ハ村治上ノ治績ヲ擧ケタルノミナラス農會、學校、青年團、地主會等何レモ相當ニ活動シ此等各種ノ機關能ク調和シテ地方ノ發達ヲ促シ居レリ故ニ組合ノ効果ヲ述フルト共ニ此等機關ノ相關聯セル行動ニ就キテモ併セテ記スコト、セリ

イ、産業ノ地方的改良

本村主要物産タル米ハ肥料及種子ノ共同購買、米ノ共同販賣並ニ之等ニ對スル低利資金ノ融通ニ依リ農會ノ稻作法改良、地主會ノ小作人獎勵ト相俟テ產額ノ増加ト品質ノ改良ヲ來シ農家ノ收入ヲ多カラシメタリ即チ明治四十三年產米ノ實收ハ氣候ノ不順ニ因リ前年ヨリ一分ノ減收ナルニ其額八千四百四十石ナリシカ之ヲ三十五年ノ實收六千九百石ニ比スレハ長足ノ進歩ナリトス特ニ米ノ共同販賣事業ニ付キテ云フトキハ種類ノ統一、米穀検査制度、乾燥調製及集積倉庫等ト密接ニ相倚リ相扶ケテ其聲價ヲ高メ居レリ養蠶ニ向テモ蠶種蠶具、桑葉、苗木ノ共同購入、繭ノ共同販賣及資金ノ融通ニ依リ飼養法ノ發達ト相伴ヒテ其收入ヲ増サシメタリ賣藥、製陶、酒造ノ如キモ組合ヨリ資金ノ融通ヲ受ケテ村ノ一部ニ於テ發達セリ  
更ニ土地開墾、溜池擴築乃至耕地整理ノ如キ長期殖産事業モ亦資金充實スルニ伴ヒ漸次成功ヲ告ケントシツ、アリ

ロ、富力ノ増進

勤儉貯蓄ハ本組合ノ最モ留意スル所ニシテ出資貯金及積立金トシテ已ニ壹萬八千余圓ノ財産ヲ造成セルノミナラス別ニ戊申詔書共勵實行規程ニ依リ蓄積シタル貯金ノ累計壹萬四千余圓アリ其他各種ノ貯金總額四萬圓ノ多キニ上ル(其他村基本財産壹萬七千圓、軍人共濟會蓄積金壹萬八千圓、銀行預金七萬圓アリ)又三十五年ニハ小作米トシテ四十七石三斗ヲ年々他町村ニ支拂フノ狀況ナリシカ其後買戻チナシ又ハ他町村ニ土地ヲ購入シタルニ依リ四十三年末ニ於テ五石五斗七升ノ收入超過トナリ別ニ二十一町六反余ノ山林ヲ他町村ニ所有スルニ至レリ又近來組合員中高利ノ負債ニ苦ム者ノ爲ニ組合ヨリ低利ノ資金ヲ供給シテ借換ヲナサシメ月掛貯金ノ方法ニ依リ年賦償還ヲ行ハシメタル結果本年一月ヨリ六月マテノ間ニ於テ此種ノ舊債整理ヲナシタルモノ三十三戶金額四千四百七拾五圓ニ及フト云フ今參考ノ爲メ明治二十年同三十五年及同四十年ニ於ケル地主及小作人増減ノ趨勢ヲ見ルニ左表ノ如シ

| 種 類           | 二 十 年 | 三 十 五 年 | 四 十 年 |
|---------------|-------|---------|-------|
| 總 戶 數         | 五一五   | 五三九     | 五四五   |
| 地 主 戶 數       | 六一    | 五九      | 五九    |
| 地 主 兼 小 作 戶 數 | 三四四   | 三八七     | 四〇五   |

|      |    |    |    |
|------|----|----|----|
| 小作戸數 | 四八 | 三二 | 二二 |
| 其他戸數 | 六二 | 五六 | 五八 |

三二

本村ハ農村トシテ耕地反別少ク一般ノ資力充分ナラサリシヲ以テ夙ニ勤儉規約ヲ設ケ冠婚、葬儀ノ儀式ハ質素ヲ旨トシ日常ノ衣食住ハ互ニ能ク其分限ヲ守リ嚴ニ驕奢ニ流ル、ノ弊ヲ戒シメ來レリ殊ニ本組合起リテ組合員ニ對シ低利ノ産業資金ノ借入又ハ需要品ノ共同購入等ニ依リ少カラサル便宜ヲ與ヘツ、之ヲ得ンカ爲メニハ相戒シムルニ左ノ事項ヲ以テセリ

- 一、一家親睦シテ職業ニ精勵スルコト
  - 一、道德ヲ重シ質素ヲ守ルコト
  - 一、勤儉貯蓄ノ實ヲ舉ケ毎月組合ニ預入スヘキ貯金額ヲ確定スルコト
- 而モ之ヲ一層有効ニ爲サシメンカ爲メ各區毎ニ隣保協救ノ方法ニ依リ貸付金ノ如キ又ハ税金ノ一時的代納等ノ如キモ總テ區組合員ノ連帶責任トス故ニ若シ區組合員中稼業ヲ怠リ約束ヲ破ル如キモノ生スルトキハ區全体ノ体面ヲ毀損スルヲ以テ一種ノ重大ナル社會的制裁ト爲シ而カモ區及組合員ノ旌表ハ積極的ニ益々其趣旨ヲ達シ居レリ
- 又共同販賣共同購買ノ如キモ常ニ自助的精神ヲ以テ誠實ナル取引ヲナシ漸次其信用ヲ博スルニ至レリ其他戸主會、青年會、婦女會、教育會等ノ集會ノ際ハ講話又ハ印刷物ニ依リ各自ノ心得ヘキ

事項ヲ示サレ村内俱樂部ノ設ケアリテ新聞雜誌其他有益ナル讀物ヲ備ヘ婦女子ノ爲メニハ特ニ數組ノ巡回文庫ヲ設クルナト一般家庭ニ至ルマテ德義ノ養成、智識ノ啓發ニ怠ラスカクテ村内各々欣然トシテ相緝睦シ勤儉其業ニ勵ムノ風ヲ爲スニ至レリ

## 有限責任 豊地信用購買販賣組合

### 一、設立事情

豊地村ハ三重縣一志郡ノ東南部ニ位シ津市ヲ距ルコト四里飯南郡松阪町ヲ距ルコト三里ニシテ鐵道參宮線六軒驛ノ西方一里ニ過キス戸數三百七十人口二千二百耕地反別三百餘町歩山林五百餘町歩ヲ有スルニアリ村民概ネ農ヲ以テ主業トシ副業ニハ養蠶薪炭業ヲ營ム而シテ農業者中自作者ハ約十分ノ四ニシテ他ハ小作ニ屬セリ人情極メテ醇厚ニシテ勤儉力行ヲ旨トス

組合長宮村勇三郎氏ハ資性堅實溫厚ニシテ村内ニ德望高ク資産亦村内ノ一流ニ位ス昔テ村長(現今尙村長)ノ職ニ在ルヤ村民ノ産業及經濟ノ發達ヲ企圖センカ爲メニ産業組合設立ヲ主唱シ日夜寢食ヲ忘レテ之レヲ慇懃鼓吹シタルニ村民歡シテ和同シ組合設立ノ準備ニ就キ稍成案ヲ得タリ而シテ從來村農會ニ於テ數々實行シタル肥料其ノ他共同購買ノ事業ニ鑑ミ産業組合ノ組織ハ或程度迄組合員ヲ多數ニシ努メテ資力ヲ充實セシムルニ在ラサレハ幾多權威者ノ迫害ニ對抗シテ其ノ存立ヲ保チ活動ヲ持續スルコト能ハサルヘシト信スルモ組合員ノ數及出資金額等村内ノ狀況ニ依リ測定スルニ僅カニ八千圓ヲ得ルニ過キササルヲ以テ聊カ不足ノ感ヲ懷キ逡巡スル所アリ更ニ熟考ヲ重ヌルノ時ニ當リ偶々明治三十七八年ノ戰役ニ逢過シ村行政ノ事務彌々繁劇トナリ加之村長ハ身軍籍ニ在ルノ故ヲ以テ召集ニ應スミ

ニ及ヒ茲ニ端ナクモ一時中絶ノ止ムナキニ至レリ

平和克復ノ後世ヲ舉ケテ戰後經營ヲ絶叫スルニ至リ組合設立ノ議ハ再燃シ宮村勇三郎氏ノ凱旋スルヤ機既ニ熟シタリ即チ明治三十九年十月宮村勇三郎、東畑吉之助、前田善平、三浦清之亟ノ四氏設立委員トナリ爾來屢々會合ヲ重テ當時ノ村長多賀寅之助氏以下區長等ノ熱心ナル贊助ヲ得遂ニ全戸數三百五十戸ノ内實ニ二百七十二人ノ組合員ヲ得ルニ至リ定款其他ノ規定ヲ議定シ理事ニ宮村勇三郎、東畑吉之助、前田善平、杉原久兵衛、三浦清之亟ノ五氏ヲ舉ケ宮村勇三郎氏ハ組合長ニ舉ケラレ宮村信次郎、東畑與吉、矢野義三郎ノ三氏ハ監事ニ當選シ明治三十九年十二月廿七日付ヲ以テ設立ノ許可ヲ得タリ後認可ヲ得テ四十四年二月十六日加入豫約ニ關スル定款ノ變更ヲ爲シ又全年十二月二十八日區域ヲ隣郷中郷村ノ一部ニ擴張スルニ至レリ

### 二、經營ノ狀況

#### (1) 設備

##### (1) 事務所

事務所ハ設立當時ハ民家ヲ借受ケ充用セシモ不便不尠ニ依リ明治四十二年一月總會ノ決議ヲ以テ桁行六間梁行三間外ニ庇一坪半ノ木造瓦葺一棟ヲ新築セリ

##### (2) 倉庫

事業漸ク發展シ倉庫ノ必要ニ迫ルニ方リ村内ニ於ケル倉庫ヲ買收シ事務所ニ近接スル敷地ヲトシテ總坪二十二坪ニ改造シ全四十四年十月更ニ建坪十八坪ノ一棟ヲ新築シタリ

(3) 精米工場

米穀ヲ販賣スルニ際シ他ノ精米場ニ搗精ヲ委託スルコトノ最モ不利ニシテ且管理ノ困難ナルヲ感シ精米所ヲ設クルノ必要ヲ認メタルモ曩ニ事務所及倉庫ヲ造築シタルヲ以テ更ニ精米場ヲ設備シ多額ノ資金ヲ固定セシムルカ如キハ忍ヒサル所ナルヲ以テ全村有力者ノ援助ニヨリ同志會ト稱スル社交團體ヨリ工場、器具、機械一切ヲ借受ケ敷地ハ組合ニ於テ個人有土地八十二坪ヲ借受ケ之ヲ提供シ以テ搗精機械及原動機ノ据付ヲ爲シ間斷ナク之ヲ使用シツ、アリシカ四十四年七月ニ至リ全部之ヲ組合ニ買收セリ

今精米所創設當時ノ建設費ヲ示セハ左ノ如シ

|      |             |
|------|-------------|
| 敷地   | 金七拾參圓參拾八錢五厘 |
| 建築   | 金參百七拾參圓五錢   |
| 原動機  | 金五百貳拾貳圓五拾五錢 |
| 精米機  | 金參百貳拾四圓參拾七錢 |
| 基礎工費 | 金百貳拾七圓五拾六錢  |

利子及雜費

金五圓參拾六錢  
計金壹千四百貳拾六圓貳拾七錢五厘

內譯

|     |             |            |
|-----|-------------|------------|
| 原動機 | 金四百八拾圓      | 石油發動機(四馬力) |
| 搗精機 | 金貳百六拾五圓     | 附屬品代       |
| 基礎費 | 金八拾五圓拾七錢五厘  | 精米機二臺      |
|     | 金四拾貳圓參拾八錢五厘 | 附屬品代       |
|     |             | 基礎及据付      |
|     |             | 運搬及雜費      |

(4) 精米機

精米機ハ始メ二臺ヲ設備シタルニ一日ノ工程約十石ニシテ其成績良好ナルヲ以テ更ニ一臺ヲ増置セリ

(5) 原動機

原動機ハ廣瀬式二重ピリアリング無点火石油發動機ヲ購入シ使用セルニ動力好調些少ノ故障ナキヲ得タリ

(四) 事務

設立以來理事宮村勇三郎、東畑吉之助、藤田善平ノ三氏ヲ常務トシ書記一名ヲ使用セリ米穀ノ検査ハ検査員ニ必要ニ應シ出務セシムルコト、シ精米工場ニハ從業者一名ヲ使役セリ  
 創立以來第四年迄ハ隔日寄敷日ヲ以テ執行シ十一、十二兩月ハ特ニ日々執務スルコト、セリ業務ハ常ニ繁忙ヲ極メテ理事以下私事ヲ顧ミルノ餘裕ナク全力ヲ擧ケテ業務ヲ執掌シツ、アリ去レハ記帳、出納其他常ニ整然タルヲ失ハス組合員ニ對シテハ眞摯叮嚀ヲ旨トシ指導訓育ヲ怠ラサルヲ以テ今ヤ全組合員ノ深厚ナル信頼ヲ受クルニ至レリ  
 貯金ノ取扱ニ付テハ小口又ハ當座貯金ハ通帳ヲ用ヒ定期貯金ニ對シテハ証書ヲ發行セリ  
 貸付金ニ付テハ一定ノ印刷用紙及收入印紙ヲ常備シテ組合員ノ使用ニ便シ資金ノ用途其他所要ノ調査ヲ爲シ諾否ヲ決セリ  
 販賣品ハ組合員各自ノ提出ニ對シ縣米穀検査ノ検査濟以外更ニ組合所定ノ検査ヲ爲シ受入又ハ委託ニ依リ米ハ玄米又ハ白米ヲ以テ販賣シ繭ハ生繭ヲ以テ販賣セリ  
 購買品ハ理事ノ見込ヲ以テ隨時購入シ組合事務所ニ備へ組合員ノ需用ニ任セリ而シテ購買品取扱ニハ通帳ヲ使用ス

(ハ) 組合員ノ訓育

理事ハ總會ニ於テ每會組合員ノ大多數カ出席スル機會ヲ以テ反覆組合ノ性質効果及組合員ノ心得ヲ説キ共同一致組合ノ利福ヲ増進スル所以ヲ諭示シ尙居常組合員ニ面接シ若クハ文書ヲ頒布シ以テ其訓育獎勵ヲ怠ラス且ツ組合員ノ心得並ニ表彰及獎勵規程ヲ設ケ總會ニ於テ組合員ノ表彰ヲ行ヘリ

(ニ) 事業成績

事業ハ開始以來常ニ良好ニシテ會テ一回ノ頽勢失敗又ハ組合員ノ紛議ヲ生シタルコトナク協力一致ノ步調ヲ以テ逐年發展向上シツ、アルカ故ニ地方一般ノ注目ヲ惹キ比隣村落ヨリ加入ノ申込ヲ受クルニ至レリ今各事業ノ成績ヲ記述スレハ左ノ如シ

(1) 設立以來組合員ノ職業別ノ數及出資拂込ノ狀況

組合員職業別

| 年 度  | 農 業 |     | 工 業 |    | 商 業 |    | 雜 業 |    | 計   |       |
|------|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|-------|
|      | 人員  | 口數  | 人員  | 口數 | 人員  | 口數 | 人員  | 口數 | 人員  | 口數    |
| 第一年度 | 二二七 | 八九五 | 二二  | 二二 | 一〇  | 五  | 一四  | 七九 | 二七三 | 一、〇五二 |
| 第二年度 | 二二九 | 九〇二 | 二二  | 二四 | 一〇  | 五  | 一五  | 八〇 | 二七六 | 一、〇六一 |
| 第三年度 | 二二六 | 八八二 | 二四  | 四〇 | 一〇  | 五  | 一七  | 八七 | 二七七 | 一、〇六四 |
| 第四年度 | 二二九 | 八八四 | 二四  | 四〇 | 一〇  | 五  | 一七  | 八七 | 二八〇 | 一、〇六六 |



|      |        |    |    |    |    |    |    |    |       |
|------|--------|----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 第五年度 | 三七、一〇〇 | 一九 | 四五 | 一五 | 七〇 | 一五 | 八三 | 三六 | 一、一〇一 |
|------|--------|----|----|----|----|----|----|----|-------|

出資拂込

| 年度   | 各          | 自 | 拂 | 込 | 剩餘金ヨリ     | 拂 | 込 | 計          |
|------|------------|---|---|---|-----------|---|---|------------|
| 第一年度 | 三、一五六、〇〇〇  |   |   |   | 一八九、三六〇   |   |   | 三、一五六、〇〇〇  |
| 第二年度 | 七、三七、六四〇   |   |   |   | 五七一、三〇〇   |   |   | 七、四二七、〇〇〇  |
| 第三年度 | 一〇、〇六八、六八〇 |   |   |   | 一、二四五、八八〇 |   |   | 一〇、六四〇、〇〇〇 |
| 第四年度 | 二、六四六、二〇〇  |   |   |   | 一、八七〇、七六〇 |   |   | 二、七九二、〇〇〇  |
| 第五年度 | 一六、二四一、四〇〇 |   |   |   |           |   |   | 一八、〇一五、〇〇〇 |

(2) 貸付金

由來本村ハ僻陬ノ農村ナリト雖モ中ニハ木材、仲買、製茶、機業、染織、搾乳等ヲ營ム者有ルカ故ニ之ニ要スル資金ノ需要頻繁ニシテ而モ多額ヲ要スルト雖モ村内幾多ノ富豪者ハ概ネ貸金ノ煩累ヲ忌避シ寧ロ之ヲ耕地又ハ殖林ニ放資シ又ハ銀行預金ト爲ス等ノ運用極メテ單調ナルヲ以テ資金ノ融通圓滑ナラス之カ爲メ企業者ハ去テ資本ヲ他町村ノ高利貸業者ニ仰キ比較的高利ニ苦ムノ止ムヲ得サルニ出ツル者少カラサリキ然ラサレハ或ハ事業ヲ繰延ヘ若ハ縮少スルカ如キハ概テ皆之ナリ然ルニ當年組合ノ設置セラレ資金供給ノ便宜ヲ得ルニ至ルヤ組合員ノ大多數ハ競フテ其貸

付ヲ要求シ以テ産業ノ經營範圍ノ擴張ニ或ハ舊債ノ償還乃至高利ノ借換ニ各之ヲ利用シ爰ニ多年ノ抑屈ヲ伸ヘ大ニ新生面ヲ開カントスルノ觀ヲ呈シタリ蓋シ組合ニ於ケル各種産業資金ノ貸付ハ組合員多年ノ欲望ヲ充タスモノナル而已ナラス組合ハ努メテ低利ト簡便トヲ以テスルカ故ニ組合員ノ最モ歡迎スル所トナリ豫期以上ノ盛況ヲ示スト雖モ組合ノ資力ハ自ラ限リアルノミナラス其供給ヲ容易ニセンカ却テ不測ノ禍ヲ招クコトナキヲ保シ難キヲ以テ理事者ハ常ニ組合員ノ要求ヲ覈査シ又時ニ懇篤ナル説示ヲ加フル等慎重ナル貸出ヲ行ヘリ其貸付及回收ヲ示セハ左ノ如シ

| 年度   | 區別 | 貸付額        | 回收額       | 年度末現在      |
|------|----|------------|-----------|------------|
| 第一年度 |    | 四七、〇〇三、〇七〇 | 三、一六六、八二〇 | 一四、八三六、二五〇 |
| 第二年度 |    | 五三、五五一、九六〇 | 五、九三六、四〇〇 | 一四、四五二、八二〇 |
| 第三年度 |    | 五六、七七七、六七〇 | 五、二〇三、四九〇 | 一九、〇〇五、九九〇 |
| 第四年度 |    | 五三、三三五、三五〇 | 五、六〇二、三八〇 | 一九、七二八、九六〇 |
| 第五年度 |    | 六六、二六、三四〇  | 六、三六〇、七四〇 | 二三、五七四、五六〇 |

備考 貸付件數ハ毎年度五百七十件乃至七百六十件回收件數ハ四百五十件乃至七百五十件ノ間ニ在リ貸付期間ハ二ケ年以内トス且特別貸付ノ制度ヲ設ケ組合員ノ農工商業者中頻繁ニ資金ノ需用ヲ生シ而シテ又隨時ニ收入ヲ生シ收支常ニ順逆反覆スルモノ尠カラサルヲ以テ之等ニ對シテハ一層

慎重ノ調査ヲ加ヘ其營業ノ狀態カ頗ル有利確實ナリト認ムル者ニ限り特ニ二ヶ年ヲ期限トシ保証人附證書ニ依リテ規定金額ノ範圍ニ依リ隨時貸出ト償還トヲ反覆シ得ルコト恰モ銀行當座貸越ノ制度ノ如クシ以テ組合員ノ利益ヲ與フルコト、セリ

(3) 貯 金

銀行又ハ郵便局ヲ距ルコト遠ク貯蓄機關ノ缺如セル爲メ從來勤儉力行ノ成果ヲ收ムルコト難カリシモ組合設立以來理事ハ常ニ獎勵シ設立前ト便否同一ナラサルニ加フルニ貯金利率ハ地方ノ預金率ニ比シ高キコト約一割以上ニシテ且受入拂戻ノ手續簡便ナルヲ以テ組合員ハ競フテ貯金ヲ提供シ漸次其額ヲ増加スルニ至レリ今各年度ニ於ケル貯金受入額ヲ示セハ左ノ如シ

| 年 度  | 區 別 | 小口貯金      | 當座貯金       | 定期貯金       | 勤儉貯金      | 計          |
|------|-----|-----------|------------|------------|-----------|------------|
| 第一年度 |     | 一、九七〇、三三〇 | 一七、二六五、二三〇 | 三、六八、九〇〇   |           | 四一、九〇四、四七〇 |
| 第二年度 |     | 一、八五、一四五  | 一八、六八九、七六〇 | 二、二七、六八〇   |           | 三、七六六、五九五  |
| 第三年度 |     | 二、五九六、一四〇 | 四、〇九四、四五五  | 一五、八四六、〇三〇 |           | 六二、五三六、五七五 |
| 第四年度 |     | 四、〇四五、二七〇 | 四一、八八九、七〇〇 | 一六、〇八五、二二〇 | 八九三、〇四〇   | 六二、九〇三、一五〇 |
| 第五年度 |     | 四、四八七、四九五 | 四五、五二四、九五〇 | 一四、二五三、五七〇 | 一、〇三九、六四〇 | 六五、二九五、六五五 |

備考 小口貯金ハ年利七分八厘當座貯金及定期貯金ハ日歩九厘勤儉貯金ハ第四年度ヨリ開始シ利率

年七分八厘トス

(4) 販 賣

組合員ノ生産物ヲ共同販賣スルノ利益アルコトハ理事者ニ於テ認ムル處ナルモ之ヲ斷行スルハ容易ノ業ニ非ズ窃ニ機運ノ至レルヲ期シタリシニ縣ニ於テ彼ノ明治三十八年勅令第二百一號政府ニ於テ産業組合ヨリ物品ノ買入ヲ爲スルハ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルノ規定ニ依リ縣下産業組合ヨリ第三師團所管歩兵第五十一聯隊需用精米ノ供給ヲ爲サシメムトシ師團經理部ニ交渉スルコト一再ナラス終ニ交渉調ヒ明治四十二年十月廿七日同組合ト第三師團トノ間ニ契約成リ精米ノ供約ヲ爲スニ至レリ爾來精米ヲ軍隊ニ供給スルト共ニ一般玄米及精米ノ販賣ヲ實行シ且蠶繭ノ販賣ヲ取扱フコト、ナレリ販賣事業ノ經營ニ付テハ幾多ノ困難及相場ノ變動ニ遭遇シタルモ理事ノ處理宜シキヲ得良好ナル成績ト利益トヲ收メタリ販賣品取扱高ヲ示セハ左ノ如シ

| 年 度  | 區 別  | 米           |           | 糯       |   | 生 繭 | 計          |
|------|------|-------------|-----------|---------|---|-----|------------|
|      |      | 玄           | 精         | 玄       | 精 |     |            |
| 第三年度 | 委託買取 |             | 三、一四五、五七〇 |         |   |     | 三、三五、九六〇   |
| 第四年度 | 委託買取 | 三、六三一、八四三、七 | 九四、〇七〇    |         |   |     | 四一、八六八、五五〇 |
|      |      |             |           | 三三二、六四〇 |   |     |            |

|      |    |    |            |        |        |       |          |          |
|------|----|----|------------|--------|--------|-------|----------|----------|
| 第五年度 | 委託 | 買取 | 三六、六三〇、〇三〇 | 一八、六四〇 | 三九、七〇〇 | 八、五九〇 | 四、三五、八二〇 | 四、三五、八二〇 |
|------|----|----|------------|--------|--------|-------|----------|----------|

軍隊ニ對シテハ毎月精米約二百四十石ヲ供給シツ、アリシモ經理部ニ於テハ第三師團所管中守山岐阜津各聯隊所在地ノ生産物ヲ以テ軍糧ニ充ツルノ方針ニ依リ契約ノ時々各地ノ標準市價ヲ徴シ其比準カ常ニ岐阜、守山ハ若干宛ノ低價ヲ示シ居リ且供給者ハ岐阜、守山ニ在テハ組合ニ非ラヌシテ商人ノ競争入札ニ附スルコトナルヲ以テ本縣生産物ニ比シ品質劣等ナレ其價額低廉ナリ故ニ組合ニ於テ其契約ヲ成立維持セントセハ其折衝ノ容易ナラサルモノアリ然レモ組合理事者ハ其需要者カ軍人ナルノ故ヲ以テ誠實ヲ旨トシ納入ニ努メ且ツ需用者タル師團經理部ニ於テ其ノ利スル處大ナルコトヲ確認スル如カリキ而シテ販賣ニ於ケル精米ハ全部組合ニ於ケル加工ニ屬シ且第五年度買取ニ關スル損益ノ計算ヲ示セハ左ノ如シ

| 利         | 益       | 損         | 失        |
|-----------|---------|-----------|----------|
| 種目        | 金額      | 種目        | 金額       |
| 販賣米價格     | 四、二七、七〇 | 前年度末現在米價格 | 九、三六、四二〇 |
| 本年度末現在米價格 | 二、三五、五〇 | 同右雜品價格    | 一六、八〇〇   |

| 同右雜品價格 | 買取米價格      |
|--------|------------|
| 糖代金    | 四九、七六、四九〇  |
| 小米代金   | 三三、三三〇     |
| 空俵代金   | 二八、七五五     |
| 搗空精料   | 二八〇、四四五    |
| 油空箱代金  | 三三、〇六〇     |
| 雜收入金   | 一五、九七〇     |
|        | 六二、一五五     |
|        | 一五四、五〇〇    |
|        | 四八、九四〇     |
|        | 三三、五六〇     |
|        | 二二、八四五     |
|        | 八二、四一〇     |
|        | 一、二〇〇、〇〇〇  |
|        | 五四、五〇一、六〇〇 |
| 計      | 二、八〇四、〇五〇  |

(5) 購買

購買品ハ産業用品ニ重キヲ置キ生計用品モ亦取扱フト雖モ多種類ノ購買ヲ行ハス農業者カ最モ必要トシ最モ價額ノ多大ナル肥料農具及日用欠クヘカラサル紙、砂糖、燐寸、食塩、石油ヲ廉且便

利ニ組合員ニ賣却スルニ努メ居レリ  
第一年度以來取扱ヒタル購買品ノ種類及價額ヲ示セハ左ノ如シ

| 區別   | 品目                                | 第一年度     | 第二年度     | 第三年度      | 第四年度      | 第五年度      |
|------|-----------------------------------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 産業用品 | 鯀粕、小鯀粕、過燐酸肥料、人造肥料、大豆粕、笠、英産鐵、紫雲英種子 | 六、五五、一五八 | 一、五三、七三〇 | 四、五四、七〇〇  | 三、五八〇、八〇〇 | 九、二五四、五四〇 |
|      | 砂糖、石油、機寸、油、蠟燭                     | 八八七、八六六  | 六九六、八〇五  | 八六六、六三三   | 八五五、五七〇   | 五、四、四〇〇   |
| 生計用品 | 砂糖、紙、學校用品、綿糸                      | 七、四三、九八四 | 二、三〇、五五五 | 五、三七一、三三三 | 四、四六、四三〇  | 九、七七八、九六〇 |
| 計    |                                   |          |          |           |           |           |

(6) 設立以來損益計算及財産

組合ハ常ニ組合員直接ノ利益ニ努メタルカ爲メ毎年度組合ニ收ムル利益ハ其取扱額ニ比シ少キノ感アルモ役員以下能ク勤儉ヲ重シシ其勤勞ノ大ナルヲ厭ハサルト諸般ノ經費ヲ節約セシ結果損益計算ニ於テ純益ニ属スヘキ金額ハ却テ少ナカラサルヲ常トシ準備金及特別積立金ノ増加ト共ニ組合基礎ノ鞏固ヲ見ルニ至レリ

損益計算

| 區別 | 年度 | 第一年度 | 第二年度 | 第三年度 | 第四年度 | 第五年度 |
|----|----|------|------|------|------|------|
|----|----|------|------|------|------|------|

|       |           |           |           |           |           |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 益金    | 一、八四五、六〇二 | 二、四三二、四六八 | 二、九九一、〇〇五 | 四、八九五、六四二 | 七、四八二、〇九〇 |
| 損金    | 一、〇三六、八〇二 | 一、五四七、九六八 | 一、五五六、四九六 | 一、九六〇、六四一 | 二、四五〇、三六〇 |
| 差引剩餘金 | 八〇八、八〇〇   | 八八三、五〇〇   | 一、四三四、五〇九 | 二、九三五、〇〇〇 | 五、〇三一、八三〇 |

剩餘金處分

| 區別    | 年度      | 第一年度    | 第二年度    | 第三年度      | 第四年度      | 第五年度 |
|-------|---------|---------|---------|-----------|-----------|------|
| 準備金   | 二六二、一〇〇 | 二六五、三〇〇 | 三〇〇、〇〇〇 | 一、一〇〇、〇〇〇 | 三、七三五、〇〇〇 |      |
| 配當金   | 一八九、三三〇 | 三八一、九六〇 | 五七四、五五〇 | 七四、八八〇    | 九九六、八三〇   |      |
| 特別積立金 | 二〇〇、〇〇〇 | 一六、〇〇〇  | 三九〇、〇〇〇 | 一、〇一〇、一三〇 | 一〇〇、〇〇〇   |      |
| 賞與金   | 一五七、二四〇 | 七五、二〇〇  | 九九、九四九  | 一〇〇、〇〇〇   | 一〇〇、〇〇〇   |      |

貸借對照表

(貸方ノ部)

| 區別     | 年度         | 第一年度       | 第二年度       | 第三年度       | 第四年度       | 第五年度 |
|--------|------------|------------|------------|------------|------------|------|
| 拂込未済出資 | 一七、八四、〇〇〇  | 一三、七九三、〇〇〇 | 一〇、六四〇、〇〇〇 | 八、五八、〇〇〇   | 六、〇〇五、〇〇〇  |      |
| 貸付金    | 一四、八三六、三五〇 | 一四、四五一、八二〇 | 一九、〇〇五、九六〇 | 一九、七七八、六六〇 | 二三、五七四、五六〇 |      |
| 預金     | 一          | 四、四四三、三三〇  | 二、七三三、四〇〇  | 五、六八一、八四〇  | 五、八〇九、四七〇  |      |

| 有價証券<br>建物<br>機械<br>什器<br>現在品<br>假拂金<br>未收入利息<br>現金<br>未收入販賣代金<br>計 | 區別年度       |            |            |            |            |
|---|------------|------------|------------|------------|------------|
|   | 第一年度       | 第二年度       | 第三年度       | 第四年度       | 第五年度       |
| 有價証券  | 24,000     | 628,150    | 1,020,000  | 900,000    | 1,964,750  |
| 建物  |            |            |            |            | 1,890,000  |
| 機械  |            |            |            |            | 700,000    |
| 什器  | 150,000    | 159,266    | 230,000    | 240,000    | 210,000    |
| 現在品   | 2,678,889  | 769,172    | 956,574    | 1,066,075  | 15,753,745 |
| 假拂金   |            |            | 6,208,595  |            | 50,000     |
| 未收入利息   | 89,552     | 143,200    | 291,990    | 304,890    | 247,730    |
| 現金  | 21,956     | 2,355,838  | 204,840    | 750,070    | 2,355,110  |
| 未收入販賣代金   |            |            |            | 3,281,260  |            |
| 計   | 35,874,677 | 36,733,605 | 41,330,389 | 50,470,995 | 58,570,365 |

(借方ノ部)

| 未仕拂利息<br>特別積立金<br>準備金<br>貯蓄金<br>出資金<br>計 | 區別年度       |            |            |            |            |
|--|------------|------------|------------|------------|------------|
|  | 第一年度       | 第二年度       | 第三年度       | 第四年度       | 第五年度       |
| 未仕拂利息                                    | 155,297    | 255,050    | 299,870    | 244,645    | 191,850    |
| 特別積立金                                    |            | 157,240    | 328,280    | 708,280    | 1,778,400  |
| 準備金                                      | 800        | 270,200    | 599,400    | 902,800    | 2,596,800  |
| 貯蓄金                                      | 10,655,550 | 3,947,615  | 17,408,300 | 33,302,940 | 15,011,485 |
| 出資金                                      | 22,400,000 | 22,300,000 | 22,280,000 | 22,310,000 | 24,010,000 |
| 計  | 23,456,647 | 27,830,105 | 40,317,850 | 57,213,665 | 43,398,535 |

| 未仕拂購買代金<br>借入金<br>計 | 純 財 産     |            |            |            |            |
|---------------------|-----------|------------|------------|------------|------------|
|                     | 第一年度      | 第二年度       | 第三年度       | 第四年度       | 第五年度       |
| 未仕拂購買代金             | 808,800   | 883,500    | 1,444,599  | 2,935,000  | 5,031,800  |
| 借入金                 | 3,334,200 | 36,733,605 | 41,330,389 | 50,470,995 | 58,570,365 |
| 計                   | 4,143,000 | 37,617,105 | 42,774,988 | 53,405,995 | 63,602,165 |

| 年 度 | 第一年度       | 第二年度       | 第三年度       | 第四年度       | 第五年度       |
|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 金 額 | 22,892,600 | 33,550,940 | 33,552,189 | 25,866,080 | 33,367,030 |

一、經 過

創業年尙淺キノ際幾多ノ設備ヲ要スルヤ有力者九名ノ社交團體タル同志會ハ特ニ經費一千六百餘圓ヲ投シテ組合ノ要求ニ適セル精米工場ヲ建設シ之ヲ組合ノ専用ニ任シ軍隊ニ對スル精米ノ供給ヲ容易ナラシメ後又組合ノ請求ヲ快諾シ之ヲ組合ニ讓與シタルカ如キハ終始組合ノ發展ニ助力セシヲ知ルヘク且設立當時組合ノ何物タルヲ解セス信用事業ニ組合員ノ猜疑心ニ驅ラレ又購買事業ニ於ケル地方小賣商人ノ中傷及米商販賣ニ對スル仲買商人ノ蜚語流言ニ組合員ノ惑ハサル、等事業ノ執行ニ多大ノ障害ヲ蒙リタルコトアルモ理事ハ百折不撓專心經營ニ努メ設立以來組合員ノ脱

退ハ死亡ニ因ル者アリシ而已ニテ却テ村内未加入者ノ加入ハ勿論隣村ヨリ(中郷村ノ一部)ニ區域ヲ擴張シ五十八戸ノ内四十九戸ノ新加入者ヲ得ルニ至レリ

### 一、經濟上ノ効果

組合ノ效果ハ著シク舉リ組合員ハ産業資金ヲ得之ヲ以テ土地ノ買収、殖林、開墾、農舎建築、耕牛ノ買入、施肥ノ勵行、桑又ハ果樹ノ植栽、養蠶、製茶及製炭其他各自ノ營業範圍ヲ擴張スルニ至リ又貯蓄心ヲ涵養シ競フテ貯金ヲ増加スル等ハ實ニ富力ヲ増進シタル一例トシテ見ルヘク或ハ購買販賣ニ於ケル地方商賈ノ迫害ヲ制シタルカ如キ其他地主小作人ノ調和寄附ニ依ル校舍ノ改築、神社ノ合祀、青年團及勤儉貯金組合ノ組織、道路改修事業等殆ント組合カ自治扶掖ノ中心トナレルモノ、如ク或ハ範ヲ本組合ニ採リ續々附近ニ組合ヲ新設シ殊ニ隣接町村ヨリ本組合ニ加入方ヲ交渉シ來レル等ノ事績ニ徴スルモ如何ニ其效果ノ顯著ナルヲ知ルヘク尙徵稅ノ如キ村民一人トシテ滞納スル者ナキニ至リタル所以ハ組合カ本村ニ於ケル唯一機關トシテ金融ヲ緩和ナラシメタルニ由ラスンハ非ラス

伊勢新聞社活版部印行

明治四十五年四月二十日印刷

明治四十五年四月廿三日發行

發行所

三重縣廳内  
産業組合  
中央會

三重支會

電話三三番  
振替貯金口座一八二〇八  
電信略號ミシ

編輯人

三重縣津市下部田山上町千四百九十七番ノ一  
村上 晋

印刷人

三重縣津市丸之内二番屋敷  
加藤 三四郎

印刷所

三重縣津市丸之内四番屋敷  
伊勢新聞社活版部



267-23



267-23